

中部電力(株) 岐阜支店

岐阜市・電気事業

平成29年度
認定

「岐阜支店メリハリワーク推進施策」と銘打ち、ワーク・ライフ・バランス(WLB)を推進する取り組みを行っている。小学生から高校生を対象に出前教室や職場見学を行う「次世代教育支援活動」にも力を入れ、電気について考えるきっかけを与えている。

従業員数/男性1,195名 女性295名 計1,490名 ※平成31年1月1日現在



中学校などを訪問し、電気をとりまく現状などについて社員が紹介する活動に長年取り組んでいる。

WLB推進へ多彩な制度確立

電気業

職場風土の改善や労働時間管理の徹底を目指した「岐阜支店メリハリワーク推進施策」に2009年度から取り組んでいる。

月の業務予定や前年の勤務時間を参考に、月当たりの残業時間をあらかじめ算出し目標化、机に

目標残業時間を記した「時間外命令カード」を掲げて周りに知らせる取り組みでは、月の途中で達成が難しそうだと言上長が判断した場合には、業務の分担を見直す。

フレックスタイム制度も多くの部署で導入。「子どもの塾の送迎がある日にフレックスを活用することで、仕事と家庭の両立が図れ、気持ちに余裕ができた」「計画的に業務を進めることができ、メリハリのある働き方ができている」など、活用し前向きな意見が増えてきた。

また、事業環境の大きな変化や、従業員一人ひとりが抱える背景事情の多様化等に伴い、限られた要員・時間を有効に活用することが一層重要となっている中で、2018年よりテレワーク(※)の活用を開始した。有給休暇制度も充実。3日間の夏季休暇と、勤続年数に応じて10年ごとに付与される最大10日間の



月当たりの目標残業時間を記した「時間外命令カード」を掲げて仕事に取り組む。達成が難しそうだと言上長が判断した場合は業務の分担を見直す。

リフレッシュ休暇、子どもの学校行事や資格取得などに使える特別有給「ライフ・サポート休暇」も多くの従業員が使用している。同支店は「全ての“人財”の能力を最大限發揮してもらおうことで組織としての総合力を高めた」としている。

(※)「サテライトオフィス」「モバイルワーク」「在宅勤務」の3つの勤務形態の総称。